

2023年3月16日  
株式会社日本政策金融公庫

## 地域金融機関CLOを発行

～39の地域金融機関と連携し、中小企業者向け無担保資金供給の円滑化を支援～

日本政策金融公庫（略称：日本公庫）中小企業事業は、本日、地域経済活性化の担い手となる中小企業者への無担保貸付債権を裏付けとするCLO（貸付債権担保証券）を発行しました。本CLOは、中小企業者への無担保資金の円滑な供給を目的に、地域金融機関、日本公庫及び機関投資家による証券化手法を活用した連携商品です。

組成規模は、貸付債権額ベースで410.18億円（昨年度343.23億円）、貸付社数ベースで1,943社（昨年度1,712社）、参加金融機関ベースで39機関（昨年度23機関）と、1案件当たりとしては過去最大となりました。

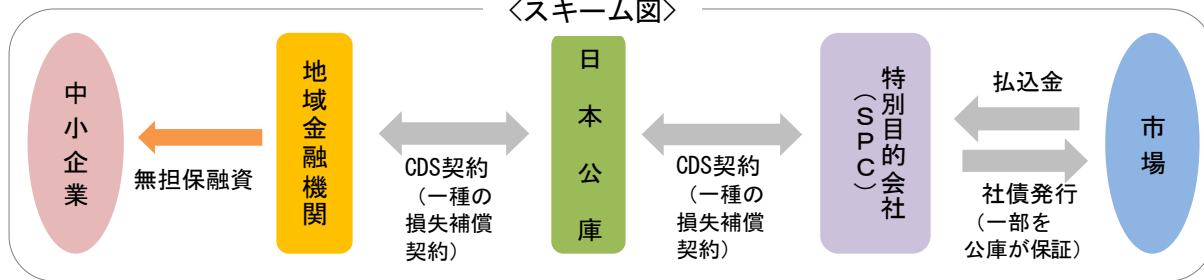
背景としては、担保に依存しない資金繰り支援ツールとして、地域金融機関の利用ニーズが高まっていること、本CLOはSDGs<sup>(※1)</sup>への貢献などが評価され、ソーシャルボンド評価<sup>(※2)</sup>を取得していることから、機関投資家の投資ニーズにも対応していることなどが考えられます。

日本公庫は、国の施策に基づく政策金融機関として、今後とも証券化手法を活用して、地域金融機関による中小企業者への無担保資金の円滑な供給を支援して参ります。

### ■ 今回のCLO（シンセティック型<sup>(※3)</sup>）の概要

- ◆ CLO発行日：令和5年3月16日
- ◆ 発行会社：合同会社クローバー2023
- ◆ 当初貸付債権総額：410.18億円（CLO発行額：399.08億円）
- ◆ 貸付社数：1,943社
- ◆ 地域金融機関：山形銀行、東北銀行、七十七銀行、北陸銀行、清水銀行、十六銀行、鳥取銀行、四国銀行、筑邦銀行、栃木銀行、京葉銀行、香川銀行、北海道信金、旭川信金、帯広信金、米沢信金、しののめ信金、川口信金、横浜信金、かながわ信金、朝日信金、城南信金、瀧野川信金、富山信金、高山信金、長浜信金、京都北都信金、大阪信金、大阪シティ信金、大和信金、姫路信金、西兵庫信金、玉島信金、西中国信金、観音寺信金、熊本信金、青森県信組、飛騨信組、笠岡信組  
(計39機関)
- ◆ A号社債：240億円（AAA）、利率0.45%、機関投資家が購入
- ◆ B号社債：109.08億円（BBB-）、利率は非公表、日本公庫が購入
- ◆ C号社債：50億円（AA+）、利率0.55%、機関投資家が購入（日本公庫が元利金を全額保証）

＜スキーム図＞



(※1) SDGs 目標8「働きがいも経済成長も」、17「パートナーシップで目標を達成しよう」への貢献などが評価されました。

(※2) R&I（格付投資情報センター）が、本スキームの社会貢献性などを評価したものです。本件は、SDGs 目標への貢献に加え、地域金融機関を通じた中小企業者の円滑な無担保資金供給などによる地域活性化効果が評価され、5年連続で取得しています。

(※3) 今回実施するシンセティック型とは、証券化対象の貸付債権を譲渡することなく、クレジット・デフォルト・スワップ（CDS）契約により、貸付債権の信用リスクのみを特別目的会社（SPC）に移転させ、証券化を行う手法です。

